

2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年5月10日

上場会社名 アグロ カネショウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4955 URL <http://www.agrokanesho.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫛引 博敬  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部統括部長 (氏名) 高橋 克幸 (TEL) 03 (5570) 4711  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	4,130	△14.9	619	△37.3	660	△30.6	482	△28.6
2018年12月期第1四半期	4,854	2.4	988	△13.7	952	△15.4	675	△4.0

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 356百万円(△6.8%) 2018年12月期第1四半期 382百万円(△34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	38.16	—
2018年12月期第1四半期	53.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	30,826	21,709	60.4
2018年12月期	30,429	21,625	60.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 18,604百万円 2018年12月期 18,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,829	2.7	1,281	△11.5	1,281	△11.1	775	△20.0	61.29
通期	15,881	3.0	1,660	△23.1	1,662	△23.1	975	△25.1	77.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	13,404,862株	2018年12月期	13,404,862株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	735,464株	2018年12月期	735,464株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	12,635,898株	2018年12月期1Q	12,635,981株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦の激化による中国の景気の下振れ懸念、さらには英国のEU離脱等の懸念がある中で、輸出の減少が見られたものの、内需拡大による企業収益の改善が進み、全体としては穏やかな伸びとなりました。

国内農業は、農業生産量の減少、農業生産者の減少および高齢化が進んでおり、依然として市場環境は厳しい状況にありますが、他方で、大規模生産者や農業法人が増加するなど農業生産構造の変化が現れてきています。国内農薬業界では、2018年12月に農薬取締法の一部改正が施行され、今後一層、農薬の安全性の向上が期待されるようになりました。また、グローバル企業の再編が進展し、今後の国内外での農薬販売の構図も大きく変わるものと予想されます。

このような情勢の中で当社グループは、経営理念である「我が信条」（お客様のため、社員のため、社会のため、株主のためという4か条）ならびに「どこまでも農家とともに」をモットーとして技術普及・販売を展開しております。そして100年企業を目指すために、「Lead The Way 2025」をスローガンとした長期事業計画とともに、新中期事業計画(2019年～2021年)を策定し、「飛躍のための加速期間」をテーマとして取り組んでおります。

研究開発部門では、創薬のための研究開発を継続するために組織力の増強と研究レベルの向上をはかり、ポートフォリオの充実と海外市場での開発の拡大を図っております。

生産部門では、2018年11月1日に山口工場を設立しました。新工場は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により操業停止になりました福島工場に代わる生産拠点であり、茨城工場・直江津工場と併せて、自社生産体制が大きく向上いたします。また、西日本の物流拠点としての機能を持ち、関東の所沢倉庫と併せて、製品の供給体制が強化されました。

営業技術普及部門においては、農業生産者への適切な技術情報の提供に加えて、開設5年目になる土壌分析室を活用し、農業の根幹となる土づくりや土壌のセンチュウ対策や病害虫診断の支援活動を拡大しています。さらに、グローバルGAP認定取得支援ならびに地域の農業・栽培問題解決のための研究実践農場の運営などを開始し、地域農業や農業生産者への付加価値サービスの向上に努めております。

また、2018年12月に株式会社KANESHO CHPを設立し、Dow Agrosciences LLCが日本及び韓国で展開しているクロルピリホス剤の営業権を取得して、販売を開始しております。

当第1四半期連結累計期間においては土壌消毒剤の売上が伸びませんでした。また、のれんの償却負担増と研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は41億3千万円（前年同四半期比7億2千3百万円の減少、前年同四半期比14.9%減）、営業利益は6億1千9百万円（前年同四半期比3億6千8百万円の減少、前年同四半期比37.3%減）、経常利益は6億6千万円（前年同四半期比2億9千1百万円の減少、前年同四半期比30.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千2百万円（前年同四半期比1億9千2百万円の減少、前年同四半期比28.6%減）となりました。

なお、当社グループの売上高は事業の性質上、業績に季節的変動があり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向にあります。また、研究開発費は他の四半期連結会計期間と比較して第4四半期に多く計上される傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は308億2千6百万円（前連結会計年度比3億9千7百万円の増加、前連結会計年度比1.3%増）となりました。これは主に現金及び預金が3億8千万円、流動資産のその他が4億1千7百万円減少する一方、第1四半期は受取手形及び売掛金が13億2千2百万円増加したことによるものであります。

(負債及び純資産)

当第1四半期連結会計期間末における負債は91億1千6百万円（前連結会計年度比3億1千2百万円の増加、前連結会計年度比3.6%増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億7千3百万円、流動負債のその他が3億8千5百万円減少する一方、短期借入の実行により借入金が11億1千1百万円増加したことによるものであります。純資産は217億9百万円となりました。その結果、自己資本比率は60.4%、1株当たり純資産額は1,472円38銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。

従いまして、実際の業績は、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,132,212	11,751,637
受取手形及び売掛金	4,462,507	5,784,688
電子記録債権	—	132,105
商品及び製品	2,642,673	2,205,234
仕掛品	136,914	168,568
原材料及び貯蔵品	1,405,193	1,923,915
その他	779,613	362,413
貸倒引当金	△435	△429
流動資産合計	21,558,678	22,328,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,871,317	2,835,645
機械装置及び運搬具（純額）	1,339,035	1,257,811
土地	1,808,782	1,808,782
その他（純額）	96,621	91,300
有形固定資産合計	6,115,756	5,993,539
無形固定資産		
のれん	1,902,055	1,814,239
その他	22,922	21,106
無形固定資産合計	1,924,977	1,835,346
投資その他の資産		
投資有価証券	112,828	112,125
長期預金	220,000	—
繰延税金資産	323,412	392,647
その他	200,256	191,665
貸倒引当金	△26,800	△26,800
投資その他の資産合計	829,697	669,638
固定資産合計	8,870,432	8,498,523
資産合計	30,429,110	30,826,657
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,875,594	1,402,139
短期借入金	—	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	389,316	390,441
未払法人税等	303,156	299,181
賞与引当金	47,703	119,258
その他	1,548,983	1,163,295
流動負債合計	4,164,753	4,574,316
固定負債		
長期借入金	2,971,476	2,881,740
退職給付に係る負債	376,271	377,750
役員株式給付引当金	48,611	53,684
長期末払金	523,542	499,942
その他	719,220	729,244
固定負債合計	4,639,121	4,542,362
負債合計	8,803,874	9,116,678

純資産の部		
株主資本		
資本金	1,809,177	1,809,177
資本剰余金	2,145,076	2,145,076
利益剰余金	15,016,705	15,349,089
自己株式	△549,915	△549,915
株主資本合計	18,421,044	18,753,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,083	41,594
為替換算調整勘定	△66,363	△160,272
退職給付に係る調整累計額	△59,221	△29,941
その他の包括利益累計額合計	△83,500	△148,619
非支配株主持分	3,287,692	3,105,170
純資産合計	21,625,235	21,709,978
負債純資産合計	30,429,110	30,826,657

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	4,854,137	4,130,297
売上原価	2,872,879	2,357,302
売上総利益	1,981,257	1,772,994
販売費及び一般管理費	993,033	1,153,492
営業利益	988,223	619,501
営業外収益		
受取利息及び配当金	856	1,358
受取地代家賃	3,924	3,865
受取保険金	—	13,085
情報提供料収入	—	37,507
その他	991	6,252
営業外収益合計	5,772	62,069
営業外費用		
支払利息	1,148	4,411
為替差損	31,122	15,299
支払手数料	6,542	975
その他	3,160	340
営業外費用合計	41,973	21,026
経常利益	952,021	660,544
特別利益		
投資有価証券売却益	59,000	—
受取補償金	—	46,338
特別利益合計	59,000	46,338
税金等調整前四半期純利益	1,011,021	706,882
法人税、住民税及び事業税	412,498	265,244
法人税等調整額	△101,869	△42,257
法人税等合計	310,628	222,987
四半期純利益	700,392	483,895
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,356	1,649
親会社株主に帰属する四半期純利益	675,035	482,246

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	700,392	483,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,598	△488
為替換算調整勘定	△288,866	△156,195
退職給付に係る調整額	△1,616	29,279
その他の包括利益合計	△318,080	△127,404
四半期包括利益	382,311	356,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,707	417,127
非支配株主に係る四半期包括利益	△89,396	△60,636

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、農薬の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。